

うっしっしいー情報2021

12月市



豊岡農業改良普及センター

12月8日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が90万6千円、雌が97万6千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（本人落としを含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	7	0.939	825,943	2	0.923	805,750	9	821,456
丹波篠山	2	0.801	870,650	8	0.782	835,450	10	842,490
丹波	25	0.915	862,488	15	0.867	942,993	40	892,678
朝来	11	1.016	913,500	5	0.825	949,740	16	924,825
播磨	16	0.976	887,975	16	0.850	881,031	32	884,503
美方郡	73	0.976	902,136	62	0.879	1,060,276	135	974,763
豊岡	25	0.977	922,416	15	0.912	1,035,760	40	964,920
養父	32	0.978	969,031	10	0.841	911,680	42	955,376
摂津・神戸	18	0.908	894,850	8	0.801	788,838	26	862,231
県北C	1	0.895	880,000	2	0.830	803,000	3	828,667
市場全体	210	0.962	905,970	143	0.864	976,169	353	934,408

12月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	17	0.998	918,176	16	0.887	1,181,263	33	1,045,733
2	丸若土井	32	0.945	958,169	23	0.849	963,839	55	960,540
3	藤彦土井	32	0.964	910,491	14	0.887	1,022,921	46	944,709
4	山伸土井	6	0.937	846,267	11	0.930	985,700	17	936,488
	総計	210	0.962	905,970	143	0.864	976,169	353	934,408
5	照和土井	28	0.992	919,796	20	0.887	930,435	48	924,229
6	忠味土井	26	0.980	906,950	19	0.835	942,758	45	922,069
7	丸池土井	27	0.951	898,130	15	0.825	868,707	42	887,621
8	照忠土井	8	0.932	816,200	5	0.827	915,420	13	854,362
9	宮菊城	9	0.973	843,578	1	0.816	761,200	10	835,340

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A	B	B	B	B	A++
2	丸若土井	B → A	A++	A++	A	A++	A++
3	藤彦土井	A++	A++	A	D	C	A++ → A+
4	山伸土井	A+ → A	A++	C	A+	A++ → A+	A++ → A+
5	照和土井	A+	A+	C	B	A	A+
6	忠味土井	B	A+	A	A	A+	A++
7	丸池土井	C → D	A+++	D	B	A++	A+++ → A++
8	照忠土井	B	A++	A	A+	A++	A
9	宮菊城	A	A+	A++	A	A+	A

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和03年8月現在)

子牛の離乳ストレスを減らそう！

○はじめに

離乳は、子牛にとって最初の試練といってもよいほど大変なイベントです。雄子牛は、離乳した約1ヶ月後に去勢を行いますので、より慎重な管理が必要になります。また、離乳時の困りごととして、母子の両方がよく鳴くことです。牧場周辺に民家が無ければそれほど気にならないことですが、民家が近ければ苦情を避けるために何らかの対応をしなければなりません。

今回は、離乳時の子牛のストレスを少しでも軽減し、スムーズな離乳ができる方法をお伝えします。

○子牛のストレスについて

表 離乳ストレス一覧

離乳時に子牛が受けるストレスを整理してみました(表)。離乳ストレスは、子牛が置かれている環境や体調、個体の性質、個性によって感受性が異なります。つまり、同じストレスを受けても個体によって反応は変わります。ストレスに弱い子牛を簡単に見分ける明確な基準はありません。まずは離乳直後の子牛を注意深く観察しましょう。離乳後、採食量の低下や発育が停滞している場合、離乳ストレスを受けていることが考えられますのでストレス対策を講じる必要があります。

離乳のストレス	子牛の気持ちになって書くと
①子牛は母乳を飲めなくさせられる	エサと習慣が変わる
②母子の絆が切断される	寂しい、不安になる
③居場所を変えられる	新たな環境で不安になる。(子牛をそのままにして母牛を移動する方が、ストレスが少ないとされているが、現実には、子牛が移動させられている)
④子牛は新しい同居牛をあてがわれる	初めて見る同居の子牛に不安を覚えるとともに順位闘争が起こる

○離乳と母子分離について

但馬牛子牛管理マニュアルでは、通常離乳を推奨しています。通常離乳を行う生後3ヶ月～4ヶ月の頃には、子牛がスターター等の飼料を1.0～1.5 kg/日食べられるようになっているので、離乳が可能になっています。

さらに子牛を徹底した管理下で飼育する超早期母子分離に取り組んでいる農家もあります。超早期母子分離は、分娩直後から1週間程度で母子分離する技術です。この技術は、子牛に手間と費用をかける必要がありますが、子牛の発育と衛生環境をコントロールしやすいメリットがあります。

○離乳ストレスの対策

離乳を行わなければ、表の①～④すべてのストレスが無くなりますが、飼養スペースや子牛の発育を考慮すると、現実的ではないので、離乳は必要不可欠です。

そこで、子牛の①と②のストレスを軽減する方法として、カナダで開発された離乳道具 Quiet Wean (以下:ハナカン)を装着する方法があります(写真1)。子牛にこのハナカンを付けると、乳首との間に壁ができ、物理的に乳首がくわえられなくなります(写真2)。乳首をくわえる習慣が減るので、母子分離を行っても離乳ストレスが軽減でき、鳴くことが少なくなります。

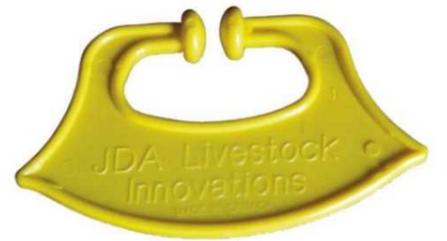


写真1 ハナカン
Quiet Wean HP から

離乳時期となった3ヶ月齢の子牛にこのハナカンを装着すると、子牛と母牛を同居させながら離乳ができます。乳首をくわえられなくなりますが、子牛は母牛と同居できるので、ストレスが軽減できるというものです。ただし、長期間連続装着すると炎症を起こす可能性があるため、1週間以上続けて装着しないようにしましょう。また、ハナカンの装着直後は、鼻を気にしますが、1日経っても、変わらず首を持ち上げ吊られたような姿勢をとる等、飼料採食時にハナカンが当たり痛がるような子牛は、装着ストレスの方が強いので、取り外して下さい。



写真2 ハナカン装着イメージ

母子分離は、ハナカンを取り外すときと同じタイミングで行います。牛舎構造やスペースに余裕がある場合は、母子分離後も子牛と母牛が互いに認識できつつ、子牛が乳首に触れられない距離感で隔離できれば、子牛のストレスを軽減できます。離乳はするが、母子が触れ合うことができるような牛舎環境が理想です。

このハナカンは、体格の小さい子牛等で脱落しやすかったり、このハナカンをつけていても乳首をくわえたりする子牛が現れる場合があります。そのときは、ハナカンに少し手を加える方法もあります(写真3)。左は、ハナカンに2カ所結束バンドを通す穴をあけ、ハナカンを少し湾曲させ落下防止をします。右は、古いプラスチックファイルを4×10cm程度の大きさに切り取り、それを結束バンドで縛り付けます。付けたプラスチック片が、鼻を押さえ、ハナカンが上がりなくなり、乳首をさらにくわえにくくします。



写真3 左: 脱落防止のアイデア 右: 補助的断乳のアイデア
へそくりくんのブログから(阿部紀次獣医師のブログ)

○最後に

今回紹介したハナカンを使う方法以外にも、離乳ストレスに弱い子牛の管理方法を考えてみませんか。牛舎スペースに余裕がある場合、母子の絆が切断されるストレスを軽減するため、離乳時期を少し遅くしている農家もあります。

一般的には、通常離乳が合理的な方法ですが、離乳後に子牛発育が停滞する牧場は、離乳方法を見直しても良いと思いますので、普及センターにご相談ください。

○今月号のポイント

- 離乳は、3ヶ月齢～4ヶ月齢を目標に行う。
- 離乳により子牛にストレスがかかるので、離乳後しばらくの間は、よく観察し、丁寧な管理を行う。
- 牛舎スペースに余裕がある場合、離乳後も母子が接触できるような飼育環境を整えることで、離乳ストレスを緩和する。